

平成 17 年 4 月 25 日

D - P A、ルート証明書のリセンス契約を締結 ～地上デジタルテレビ放送の I P 接続におけるセキュアな環境を構築～

社団法人地上デジタル放送推進協会（D - P A、東京都港区、理事長：北川 信）は、日本ベリサイン株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長 CEO：橋本 晃秀氏）およびビートラステッド・ジャパン株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：ポール・オルーク氏）とルート証明書の利用に関する契約を締結しました。これにより、地上デジタルテレビ放送の I P を利用した双方向サービスにおけるセキュアな環境の構築に向けたインフラの整備が実現しました。

地上デジタルテレビ放送において、地上デジタルテレビ対応受信機と放送事業者側の双方向サーバとの間の I P 通信をセキュアに行う為には、「汎用ルート証明書」を利用した S S L 暗号化技術と双方向サーバの認証が必須になります。その際に汎用ルート証明書を利用する事により、放送事業者側の双方向サーバが信頼された認証機関から発行された証明書を所持していることが確認できる為、デジタル対応受信機から双方向サーバに送信される視聴者の個人情報や S S L 暗号化通信で保護されます。その結果、視聴者は地上デジタルテレビ放送のデータ放送において、例えば通信販売のインターネットによる発注や視聴者参加型クイズ番組などの双方向番組を安心して楽しむ事ができるようになります。

今回、D - P A は地上デジタルテレビ放送事業者を包括して上記 2 社と契約を締結し、ルート証明書の利用に関するリセンスを受けました。今後 I P を利用した双方向通信を行う地上デジタルテレビ放送事業者は、D - P A 経由で汎用ルート証明書の提供を受け、汎用ルート証明書を地上デジタル放送波に多重して、デジタル対応受信機に送信することになります。

地上デジタルテレビ放送は、視聴者への利便性を図りながら、今後益々高度で便利な放送サービスを実現していきます。

社団法人 地上デジタル放送推進協会について

地上デジタル放送推進協会（D - P A）は、地上デジタルテレビ放送のエンジニアリングサービスの効率的な運用や送受信技術の規格化、デジタル放送番組の著作権保護などの基盤に関わる事業を推進し、かつ2011年に現行アナログ放送をデジタル放送に円滑に移行させるだけでなく、視聴者・消費者の立場を尊重しつつ、国の方針に則って、地上デジタル放送を普及発展させることを目的に、平成15年8月8日に設立されました。

地上デジタルテレビ放送は、2003年12月から関東、中京および近畿の三大広域圏で開始され、その他の地域でも2006年末までに順次、開始される予定です。

ホームページ：<http://www.d-pa.org/>

日本ベリサイン株式会社について

日本ベリサインは、1996年、VeriSign., Inc. (NASDAQ: VRSN)の最初の海外法人として設立されました。複雑化するネットワーク環境において、利用者がインフラの存在を意識することなく、安心してビジネスやコミュニケーションを行うことができる社会の実現を目指し、ウェブサイトの実在性を証明するサーバ証明書発行サービス、認証局構築のアウトソーシングサービス、ドメイン名登録サービス、セキュリティに関する様々なコンサルティング、そしてセキュリティトレーニングなど、情報セキュリティ全般にわたるサービスを提供しています。

ホームページ：<https://www.verisign.co.jp/>

ビートラステッド・ジャパン株式会社について

2004年9月 米国にて、非公開企業としては世界最大級のセキュリティテクノロジーベンダ Cybertrust 社が誕生しました。Cybertrust 社は、電子認証及びアイデンティティ管理のグローバルカンパニー Betrustrusted 社と、マネージド・セキュリティ・サービスの欧州トップベンダー Ubizen 社、インテリジェントリスクマネジメント領域におけるリーディングカンパニー TruSecure 社の3社が合併した企業です。

電子認証に関するテクノロジーソリューション企業であった日本ボルチモアテクノロジー株式会社は、Cybertrust グループとの資本業務提携により、ビートラステッド・ジャパン株式会社として生まれ変わりました。

ホームページ：<http://www.betrustrusted.co.jp/>

*記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です